

科目名 栄養学 時間割表記名 栄養学		配当時期 1 年次 後期 単位数 1 単位 時間数 30 時間(15回)	講義担当者 吉田卓矢 井上聡美
事前学習内容 解剖生理学および生体機能学の「栄養の消化と吸収」の部分を復習しておくこと。			
授業目標 生体が発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むための栄養素について理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	栄養学とは 1) 栄養と栄養素 2) 栄養評価と栄養素の利用効果 3) 食物栄養学から人間栄養学へ	講義	テキスト①②
2	栄養素の種類とはたらき	講義	テキスト①②
3	栄養素の種類と吸収・代謝	講義	テキスト①②
4	エネルギー代謝	講義	テキスト①②
5	食事と食品	講義	テキスト①②
6	栄養のアセスメント、栄養評価	講義	テキスト①②
7	ライフステージと栄養	講義	テキスト①②
8	健康づくりと食生活	講義	テキスト①②
9	栄養食事療法とは	講義	テキスト①②
10	【臨床栄養】 思春期・青年期における栄養 成人期における栄養	講義	テキスト①②
11	成人期における栄養(生活習慣病)	講義	テキスト①②
12	高齢期における栄養	講義	テキスト①②
13	妊娠期における栄養 授乳期における栄養 乳児期における栄養	講義	テキスト①②
14	幼児期における栄養 学童期における栄養	講義	テキスト①②
15	筆記試験(45分) まとめ(45分)	筆記試験 講義	
受講上の注意			
使用するテキスト			

①系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 医学書院

②系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院

参考文献